

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

1 目指す姿と数値目標

ビジョン

「楽しい」「うれしい」「おいしい」の価値創造を通じ、お客様の心を豊かにする暮らしの元気パートナーとして、地域社会と子どもたちや地球の未来に貢献

グループアクティブ顧客
1,000万人

営業利益
350～400億円

ROE
8%以上

PBR
1倍超

2 中長期の経営戦略

1. 国内顧客・店舗ビジネスの深化

百貨店事業で阪急本店リモデルやアップスケール化を実施。食品スーパー約230店の業務統合と店舗フォーマット開発による競争力強化

3. 新たな収益源の開発・展開

顧客サービスビジネス・顧客データ活用ビジネスなど、LTV最大化に向けた「コミュニケーションリテラー」確立

2. 海外顧客ビジネスの注力・強化

顧客開拓×パーソナルコミュニケーション×コンテンツ開発のサイクル実現。阪急うめだ本店にVIP専用海外顧客サービスコーナー新設

4. グループインフラ整備・利活用

IT/DX投資、人材育成・開発・投資、サステナビリティ経営の基盤強化と活動推進

3 対処すべき課題

① 国内消費市場の二極化対応

- ・ アップーマーケット拡大と本質的価値・社会的価値を重視する消費価値観への対応
- ・ 物価上昇に伴う実質賃金低下と生活防衛意識の高まりへの対応
- ・ 価値訴求型と価格訴求型の店舗フォーマット開発推進

② 海外顧客ビジネスの安定化

- ・ 世界経済の不透明感に左右されにくい優良顧客の開拓と固定化
- ・ 寧波阪急のリモデル効果の活用と2026年エリア開発との連携
- ・ 外部環境に強い海外顧客ビジネス拠点の確立

③ 人材・組織力の強化

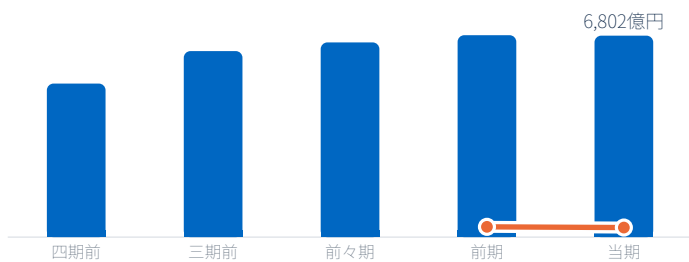
- ・ 「ともに価値を高め成長し合う共創パートナー」としての人材育成施策推進
- ・ 組織パフォーマンス最適化と従業員エンゲージメント活性化
- ・ 働く環境・風土改革の推進

面接で使えるポイント

- ・ 2030年にグループアクティブ顧客1,000万人獲得、営業利益350～400億円達成を目指し…
- ・ 阪急本店やセンター南阪急スクエアなど複数店舗のリモデルを通じて…
- ・ 大阪・関西万博2025のテーマ「いのち輝く未来社会のデザイン」に賛同し…

証券コード 8242

業績の推移（売上＝棒 / 営業利益＝線）



※営業利益は直近2期のみ開示（有報の様式変更による）

暗記する数字3つ

連結売上高
6,802億円

営業利益率
4.8%

財務健康度
38点 / 100点

将来性 晴れ時々曇り / 就活偏差値 62.3（当サイト算出の参考指標）

平均年収
1,001万円
小売業内 7位/318社

平均年齢
46.2歳
小売業内 71位/318社

平均勤続
18.5年
小売業内 37位/318社

女性管理職
15.7%
小売業内 99位/250社

男性育休
100.0%
小売業内 48位/193社

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース一言

